

文楽「管理職率50%に」

埼玉版 ウーマノミクス

女性活躍推進

女性活躍に取り組む先進企業を見学するバスツアーが20日開催され、21企業・団体の

32人が上尾市の酒造メーカー「文楽」を訪れた。県ウーマノミクス課が進める女性活躍推進業務の一環。

同社の主要4部門には、全部門に女性社員が在籍している。酒造業界では女性社員の在籍は珍しいという「製造部

門」に、1人が既に在籍、来春には新入社員を迎える予定だ。ツアーでは同社の取り組みを紹介する北西隆一郎取締役の講演や、酒蔵見学が行われた。

北西取締役は「文楽は、『人事制度』『ワークスタイル』『人材育成』の3つの歯車の上になり立っている」と強調。女性社員の積極登用の実例として、企画の立案から営業までを女性社員が担当している化粧品事業などや評価システ

化粧品事業など 取り組み例紹介



ム、子育てで急用ができた場合でも業務を行うことのできるビデオ会議などの取り組み例を挙げた。今後の展望を「3年以内に女性管理職率50%に

したい」と語った。

女性社員3人を交えた質疑応答では、参加者から「女性が活躍する環境をつくる方針を固めてから形になるまでにはどれくらいかかったのか」など活発な質問が出ていた。

参加者の美肌サロンフェアリイ代表の小島茉致子さん(49)は「誰もが働きやすい会社の」仕組みづくりは時間がかかるが、組織としてやる意味があると思えました」と話していた。(勇有花子)

文楽の商品を試飲する参加者たち。同社商品の商開発には、多くの女性社員が携わっている。20日、上尾市の文楽本社